

高所設備をセンサーを用いて保守監視『看板状態の遠隔監視』

■課題

老朽化した看板が落下する事故が全国で多数発生している中、建物の壁面などに取り付けられた看板には目視点検のみで明確な点検方法がなく、多くの自治体が屋外広告物条例を改正する動きが進んでいます。看板は風雨や日光にさらされる過酷環境で利用され、高所に設置されている。点検作業は大がかりとなり、日常の目視点検では劣化や異常を把握に苦勞をしている。

■概要・期待効果

従来の目視確認を主体とする点検とは異なり、点検を行わなくても看板の状況を常時・定量的に把握することで屋外広告物の維持管理を行うことができます。結果として、定期的な点検を減らすことや高所作業メンテナンスの削減で人件費のコスト削減が図れます。

